

調査報告書

多治見市長 古川 雅典 様

公益社団法人
日本ペストコントロール協会
岐阜県支部
岐阜市則武中1丁目19番地30号
〒502-0932 TEL:058-296-3739

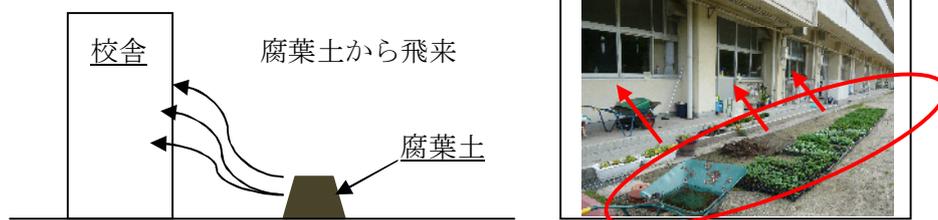
1. 事業名 コバエ生息調査業務委託
2. 事業番号 多環委 第6号
3. 履行期間 平成25年4月1日より平成26年1月31日
4. 実施日 実施内容
5/13 第1回市之倉住民説明会（今年度計画について）
参加者：①16:00～17:00 32名、②19:00～20:00 16名
6/15 防虫対策工事（防虫ネット、防虫スプレー）
7/6 モニタリング調査と発生源調査
8/24 発生源調査
8/27 第2回市之倉住民説明会（中間報告会）
9/14 発生源調査（広域調査）
11/21 第3回市之倉住民説明会、市報告会（最終報告会）
参加者：市之倉公民館 16:00～17:00 25名、市民会館 19:00～20:00 35名

5. 実施内容 発生状況の調査、家庭でできる家屋への侵入対策の検証

(1) 生息調査

①家庭用プランター等の土壌中での繁殖状況調査

- ・モニター宅、4軒の庭のプランターではコバエの発生は確認できなかった。
- ・市之倉小学校の南側校庭の腐葉土で大量のコバエの発生を確認した。
- ・同じパターンの発生源は、市之倉地域の他の場所では見つけれなかった。



②寄りつきやすい色等の調査

- ・白色、黄色、赤色、緑色の4色で試したら、明るい白と黄に集まった。
- ・ドアでは、アルミ部分にはたくさん付くが、ガラスには付かない。
- ・家屋では、畳よりも板床を好む。
- ・表面温度が高い材質より冷たい材質を好む。



③風向き等から推測される発生源での生息調査

- ・風の流れてコバエが飛来する、ということがわかった。
- ・風上を遡って調査したが、コバエは見つけれなかった。
- ・広域の範囲でコバエ生息源を探したが、確認できなかった。



(2) コバエ対策の実施、検証

①プランターへ、コバエの繁殖を抑制する薬剤投与試験

- ・ダイシストン粒状とダイアジノン粒状をそれぞれ15%投与し、調査した。
- ・調査方法が曖昧であった為、有意なデータは得られなかった。



②防虫効果のある網戸を設置して効果を検証

- ・2軒のモニター宅で網戸の網を防虫ネットに交換。
- ・異なる部屋で、網戸を防虫ネットに交換した区と無対策区をつくり調査した。
- ・窓枠からのコバエの潜り込みがあり、防虫ネットとしての効果の検証は困難であった。



③残留性のある殺虫剤を窓に塗布して効果を検証

- ・ 2軒のモニター宅で窓枠4辺の内側にシフルトリン含有の殺虫剤を塗布。
- ・ 異なる部屋で、対策区と無対策区をつくり比較した。
- ・ 一定の効果を確認し、有効性が認められた。



(3) 事前説明会、報告会の実施

住民説明会において、今年度の対策について説明・質問に対応した。計画については、①生息調査、②コバエの対策の実施・検証、③家庭内でできる対策の検討、④家庭でできる対策の市民への周知、の4項目の説明を行った。

中間報告においては7月頃の発生時についての対策実施内容についての報告・質問に応じる。次回9月の発生時にそなえ、殺虫剤や戸締り等で対策を実施することを情報提供した。新たな発生源としてプランターへの点検・殺虫剤の有効利用を説明。11月においては2会場において年間のまとめを行い質問を受けた。

(4) まとめ

今年度の調査では、コバエの発生源として、極めて狭い範囲ではあるが、腐葉土から大量発生する事がある、という事例がわかったことは1つの成果であった。家屋の窓対策と併せて、家庭で簡単にできる対策の立案に道が開けるものと期待できる。

家屋の周りには積極的な発生源は認められなかったが、風の流れて飛来する様子が確認できた。綿密な調査にもかかわらず、広域でのコバエ発生源が見いだせない現状では、やはり、家屋での有効な侵入対策を複数立案し、提案する方が現実的であるように想える。

3回開催された住民説明会は情報交換の場としてとても有益であった。貴重なモニタリングデータを資料にさせていただいたりして、今回の調査にとっても役立った。快適な住生活環境を取り戻すために、今後の調査・活動の中で活用していきたい。

以上